

第54回田辺俳句大会の作品公募について

来る10月29日(日)に開催を予定している「第54回 田辺俳句大会」の作品公募を下記のとおり行います。

この大会は、田辺市及び周辺地域在住の俳句愛好家の皆さんが結社を越えて行う大会です。皆様奮って御応募ください。詳しくは、公式ホームページを御覧ください。

■主催

田辺市俳句連盟・田辺市中央公民館

■大会部門

- (1) 一般の部
- (2) 小学生の部
- (3) 中学生の部

■応募方法

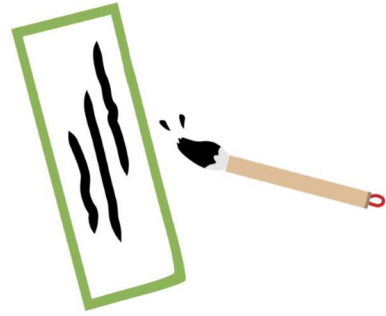
- (1) 未発表の作品5句1組(一人あたり最大5組まで)
ただし、中学生以下の部については、2句1組とします。
- (2) 整理料1組につき1,000円。応募の際に大会事務局へ納入してください。(中学生以下は無料)
(郵送による応募の場合は、郵便小為替を同封してください。)
- (3) 作品は所定の投句用紙又は原稿用紙に楷書で丁寧に書き、マスを開けずに上部から連続して書いてください。なお、前書き及びルビ(ふりがな)は付けないでください。
応募用紙は、田辺市中央公民館(田辺市民総合センター3階)及び各公民館にてお渡しします。また、公式ホームページからもダウンロードできます。
- (4) 住所、氏名及び電話番号を記載してください。俳号をお持ちの場合は、俳号も記載してください。

■受付期間

令和5年8月1日(火)～8月31日(木)まで ※当日消印有効
※中学生以下の部は、9月7日(木)まで

■申込先

田辺市俳句連盟事務局 〒646-0028 田辺市高雄一丁目23番1号 教育委員会生涯学習課内



資源回収について

8月の古紙拠点回収日は、
9日(水)、23日(水)です。

- 「紙紐」でくくってください。
- 「回収日の朝」に出してください。

「ビン・缶類」につきましても、毎日持ち込み可能ですが、深夜・早朝の持ち込みは近隣の方への御迷惑となりますので、禁止しています。

皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

移動図書館「べんけい号」運行日程

場 所	日 時
新庄公民館前	8月2日(水) 16:00～16:30
	9月1日(金) 16:00～16:30

※貸出カードを御持参ください。

田辺市教育委員会 生涯学習課 公民館係
http://www.city.tanabe.lg.jp/shougai/kouminkan/

令和5年
8月
年月/AUG

新庄公民館 だより

発行：田辺市新庄公民館
館長：小山裕史 主事：田上拓未
〒646-0011 田辺市新庄町2031番地の3
TEL:0739-22-1606 FAX:0739-23-1648
公民館区内統計情報(令和5年6月末)
【人口：5,682 世帯数：2,930】

『新庄地域みんなの集い』を開催します

～『将来も住み続けたいまち』についてみんなで話しませんか～

みなさんは、「少子化」「高齢化」をどれだけ実感していますか。「これまで」と「これから」は大きく変化することが予想されています。『将来も住み続けたいまち』であるために、みんなで未来の新庄について考え、話し合いませんか？

多くの方の御参加をお待ちしております。

新庄小学校区にお住まいの方	新庄第二小学校区にお住まいの方
◇日 時：8月23日(水) 午後7:00～午後8:30	◇日 時：8月25日(金) 午後7:00～午後8:30
◇会 場：新庄公民館 大集会室	◇会 場：和歌山県立情報交流センター ビッグユウ 研修室2
◇対 象：橋谷・名喜里・北長・田鶴・ 跡之浦地区	◇対 象：内之浦・北内之浦団地・ 神島台・たきない地区
◇申込方法 右記のQRコードからお申し込みいただくか、 田辺市自治振興課(26-9911)へお電話にてお申し込みください。	



『自衛隊等採用説明会』を開催します

自衛隊和歌山地方協力本部田辺地域事務所は、出張相談会を開催します。内容は、令和5年度自衛官等各種コースの採用・制度及び業務内容等についての相談会です。希望に応じたコース、やりがいや誇りなど直接聞ける機会ですので、お気軽にお越しください。日時・場所は以下のとおりです。

日 時	場 所
8月21日(月) 9時30分～11時30分	新庄公民館 1階 研修室
8月21日(月) 14時～16時	万呂公民館 2階 図書室
8月22日(火) 13時～15時	中部公民館 1階 和室1
8月23日(水) 13時～15時	東部公民館 1階 和室1

- ※予約不要。
- ※開始20分前から受付します。
- ※受験資格等は、自衛官募集ホームページを御覧ください。

■お問合せ

自衛隊田辺地域事務所 (0739-24-6219)

新庄公民館サークル
俳句同好会 習作 文月

飛び飛びに笹百合匂ふ水源地 山本容子
水撒けば隣も水をまいてをり 愛洲みよし
夏帽子深目にかぶり植物園 中谷悦子
虫籠の誰にあげやう甲虫 浜名美乃恵
降りさうで降らぬ雲行き梅雨きのこ 堀あや子
潮騒の耳に寄せくる袋掛 山中晴美
夕管の昨日の花の身のやつれ 山本さざ子
西瓜切る地割れのごとく鱗走り 松本武千代

新庄中学校から

○2年生国語 自分流「枕草子」
～私も清少納言～



春は卒業式。最後の制服を着た3年生たち。どんどん成長するのは、はやく感じる。3年生の歌声はきれいだけど、悲しく感じる。3年生たちは優しく、なんでも手伝ってくれた。立ちさる姿はとても悲しい。

田中瑠衣

春は体育祭。3年生が教えてくれるダンス。最初は、ぎこちないが、練習していくうちに自信がついていく。体育祭当日は、多くの観客の前で成果を出すことができるとても楽しい。橋本澤奈

夏は川。暑い中水に飛び込む僕たち。友達と水の中で遊んでいると、冷たさが楽しさ変わる。水鉄砲や浮き輪で遊ぶのも子どもらしくていい。川から出た後、車で寝ながら帰るのも楽でいい。山崎蒼太

夏はお祭り。朝からにぎわう商店街。屋台と人の熱気が、時間とともに強く感じる。終わりの頃、帰る人の寂しさがまた感じられる。その景色は、月とともに美しく見られる。岡崎美月

秋は景色。もみじやイチョウを求めて旅に行くのはをかし。写真を撮るのもをかし。過ごしやすいは言うまでもない。台風が来て休校になるのもをかし。休みに来るのはまじわろし。伏野悠仁

秋は、読書。少しずつ涼しくなり、過ごしやすくなってきた季節。小説、漫画、いろいろな世界が僕を待っている。ファンタジー、ホラー、いろいろな出会いが僕を待っている。本は、世界を広くしてくれる。宮本涼平

冬は朝。7時過ぎに家を出れば、とても寒い。道に少し雪が積もっている。ほかの季節に見られない白い景色が、とても気持ちを和らげる。寒くて学校に行きたくなかったが、雪のおかげで気分が上がるとても良い。森本花音

冬は正月。新年のはじまり。お年玉をもらっている妹たちの表情がかわいらしい。お年玉をもらい、金額を言い合う様子は正月らしくていい。落ち着いた頃、家族と一緒に食べるおせちの味が口に広がる。山本結衣

○1年生 「祇園さんの夜見世」 出品



6月21日(水)今年も松本武千代さん、庄司恵子さんより、「祇園さんの歴史」「作品作り」について教えていただきました。その後、各グループでどんな作品を作るか考えました。

7月12日(水)公民館で作品作りに取り組みました。

○体育水泳 「着衣水泳」



コロナ禍で中止していたプール水泳を今年度から再開しました。1学期最後の授業で、「着衣水泳」に取り組みました。夏休みには、海や川に行くことが多くなります。服を着て水に入ると、体にまとわりつき重くなり、思うように体を動かすことができません。もし、服を着たまま水に流されたりすると、どのように対応すればいいのかを学習しました。

くれぐれも水の事故に注意して、川、海を楽しんでください。

○8月の主な行事予定

- 1日(火) 3年生学年登校日
 - 3日(木) 全校登校日
 - 20日(日) 育友会 整備作業
 - 22日(火) 全校登校日
- ※変更になることもあります。

小学校の様子は、各校区で配布される

『藻の花』
『新二小だより』
新庄第一小学校発行
新庄第二小学校発行

をご覧ください。

未来へつながる道
田辺市

わんぱく保育所便り

夏本番を迎えましたが、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱいです。

7月3日のプール開きでは、大きいプールに、くるみ組(3～4歳児)・けやき組(4～5歳児)・ぼぶら組(5～6歳児)が入り、みんなで手をつないで大きな輪になり「海だー海だーひろいなー♪」と歌いながら、歩いたり顔つけをしたりしました。子どもたちは、日に日に水と友達になり、プール遊びを思い切り楽しんでます。

13日の祇園祭りには、「ユニバーサルスタジオわんぱく」をテーマに、みんなで育てた野菜を使って作品を作りました。子どもたちは、「これで何できるかな」「あれ作りたい!」など自分たちで考えて作品作りを楽しんでいました。翌日、保育所に戻ってきた作品から自分の作ったものを愛おしそうに手に取り、持ち帰った子ども大勢いました。大湯神社でのお餅まきにも呼んでいただき、心に残る祇園祭りになったことと思います。



29日には、わんぱく夏まつりも開きます。当日は、お父さんお母さんたちがヨーヨー釣りなどのお店も出してくれます。子どもたちはちょうちんを作ったり、盆踊りの練習をしたりして、ワクワクしながら準備を進めています。



わんぱく学童保育所通信

7月13日の祇園祭りに、学童からも「楽しい夏休み」という作品を出展しました。初めての子たちも、野菜の形を生かす方法を考えたり、友達と作品を見せ合ったりして、本当に楽しそうに作っていました。

いよいよ学校が夏休みに入り、学童の子どもたちも朝から登所するようになりました。午前中はしっかり勉強し、午後は学校の地区水泳に行ったり所庭で遊んだりして過ごしています。

暑い日が続きますが、熱中症等に気をつけてみんなで楽しい夏休みにしていきたいと思ひます。

新庄のここ知ってる?

新庄町から紀伊田辺駅方面に向かって行く道(県道田辺白浜線)の途中、山長商店さんの辺りから橋谷交差点まで道の右側に石垣が積まれています。実はこの石垣、防潮堤なんです。

第4弾 ～防潮堤～

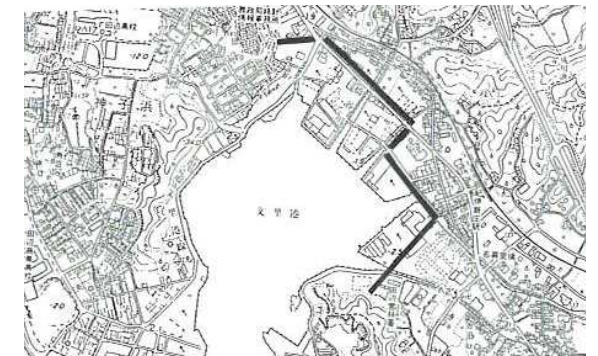
この防潮堤について、建設当時を知る方への聞き取りが「復刻 昭和の津波(発行:新庄公民館)」に残されていたので、一部を御紹介させていただきます。

製材工場から流れ出た材木丸太によって家屋の破壊等被害が大きかったため、製材工場群から住宅を守るため小野知事の肝入りで神子浜の山から新庄町出井原に及ぶ全長1030メートルの防潮堤が昭和23年に起工され、岩本組(代表:岩本長平)が請負い、昭和25年に完成した。

事業費は1000万円ぐらいだったと親父が言っていた。

防潮堤の土は、神子浜の山(現在の三菱ふそう自動車工場付近裏山)からレールを敷いて、ナベトロ(トロッコ台の上に鍋型の器があり、左右どちらへも傾いて土が落せる当時の最新型の土砂運搬機)をガソリン車に引かせて運び、石垣用の石は、滝内の山(現在の東急ハーベスト北東側山)から船で運んで築造した。

常時100人位は働いていたと思う。(後略)
(広畑努・塩路定男 談)



黒い棒線が構築された防潮堤
『復刻 昭和の津波』より



橋谷交差点付近
写真中央から右奥が防潮堤